

# モンゴルとGNH

GNH研究所  
平成22年4月17日  
磯井 美葉

## 今日のテーマ

- 1 自己紹介
- 2 モンゴルの文化
- 3 モンゴルの現状と課題
- 4 GNHとモンゴル・・・適用可能性
- 5 GNHとモンゴル・・・阻害要因

2

## モンゴルとの関わり

- 1994年 早稲田大学法学部卒業
- ～1997年 司法浪人
- 1998年～2000年 司法修習生
- 2000年 弁護士登録  
途上国への司法支援に関心を持つ
- 2005年7月 モンゴルを初めて訪問  
(1週間、日弁連国際交流委員会の視察旅行)
- 2006年9月～2008年11月  
JICA長期専門家(法整備支援プロジェクト)

3



## モンゴルの文化

### 特徴

- ❖ 厳しい気候 = 冬は-40度、夏は+30度  
= 湿度は10%以下
- ❖ 遊牧生活
- ❖ 面積は日本の約4倍、人口は約270万人

5

- ↓
- ❖ サステナブルな生活
  - ❖ 無駄のない生活 = 無駄にできない生活
  - ❖ 主な産業  
鉱業  
牧畜業(食肉、羊毛、皮革)  
観光業(民主化以後)

6

## モンゴルの歴史

- 紀元前3世紀ごろ 匈奴
- 1206年 チンギス・ハンがモンゴル統一
- 1260年～ フビライ・ハンが元を建国
- 14世紀 明に敗れる
- 17世紀 清の支配
- 1911年 モンゴル 独立宣言(「外モンゴル」のみ)  
活仏 ジェブツンダンバ・ホトクト
- 1924年 モンゴル人民共和国(ホトクト死去)
- 1939年 ノモンハン事件(ハルハ河戦争)
- 1972年 日本との国交樹立
- 1990年 民主化運動 新憲法、複数政党制、大統領制
- 1992年 「モンゴル国」

7

## モンゴルの現状と課題

- ◇ 社会主義時代の分業が崩れる
- ◇ 冷害などにより家畜を失った遊牧民が都市へ集中
- ◇ 土地の私有化
- ◇ 貧富の差の拡大
- ◇ 失業者、ホームレス、マンホールチルドレンの増加

8

## モンゴルの現状と課題

- ◇ 水資源の枯渇
- ◇ 水質汚染
- ◇ 木材資源の枯渇
- ◇ 大気汚染
- ◇ 識字率の低下? (データはなし)

9

## モンゴル政府の政策方針(1)

- ◇ マクロ経済の安定と公的セクターの効率化
- ◇ 市場経済化の促進、民間セクターを中心とする制度環境整備
- ◇ 金融と財政部門の健全化
- ◇ 国内産業の開発、牧地と農牧業再生
- ◇ 輸出志向産業の支援を通じた経済成長
- ◇ 土地改革促進

「政府行動計画」「人間の安全保障のためのグッドガバナンス」「経済成長と貧困削減戦略」より抜粋編集

10

## モンゴル政府の施策方針(2)

- ◇ 地方開発、インフラ整備の促進
- ◇ 持続的な人材育成と社会サービス改善
- ◇ 失業者削減と生活水準の改善
- ◇ 民主化と人権尊重
- ◇ グッドガバナンスとジェンダー配慮
  
- ◇ 環境保全
- ◇ 公害とゴミ処理の改善

「政府行動計画」「人間の安全保障のためのグッドガバナンス」「経済成長と貧困削減戦略」より抜粋編集

11

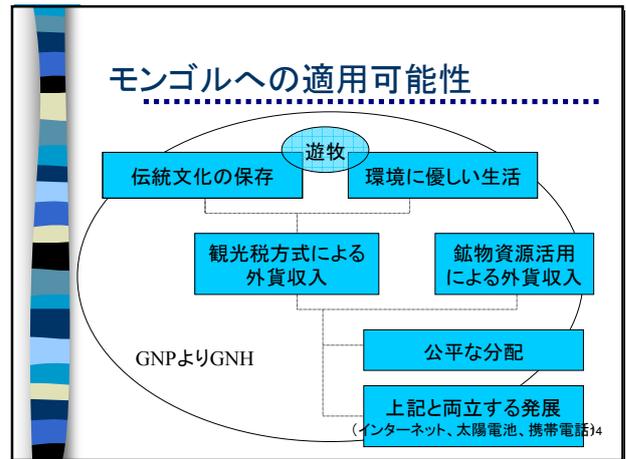
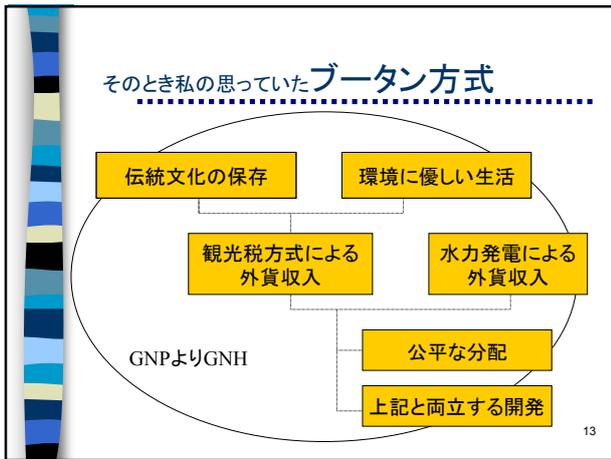
## モンゴルとGNH

モンゴルもブータン方式をとればいいのに...

...と思っていた。

- 1 持続可能で公平な社会経済開発
- 2 自然環境の保護
- 3 有形、無形文化財の保護
- 4 良い統治

12



- ### モンゴルとGNH・・・阻害要因
- ◇ 歴史的経緯、隣国との関係
  - ◇ 豊富な鉱物資源と平坦な地形
  - ◇ 指導者の不在
  - ◇ 「それでみんなが納得するのか？」  
あるいは
  - ◇ 「それほど大きな違いがあるのか？」
- 15